

SSKU

2015年度

お元気ですか?  
**イリアンソス**  
です。



PAGE

## 03 特集 平和を考える

PAGE

02 理事長の散歩道 ⑪

PAGE

06 コラム／施設紹介

PAGE

07 がんばれ！イリアンソス ⑰

理事長の散歩道



理事長の散歩道 ⑪

社会福祉法人イリアンソス

理事長 磯部光孝

10月17日の土曜日、市内の成美会館で絵本の読みがたりの会がありました。その会で、きょうされんの藤井克徳氏が作った「えほん障害者権利条約」が読まれるとのことでした。この「えほん 障害者権利条約」は「はだしのゲン」シリーズを中心に、子どもたちに命の大切さや平和を訴える本を出している汐文社が発行しており、書店にも売られているので、目にとまったのでしょうか？読み語りをやる団体は「TO・BI・RAI」といって、まったく障害団体とはつながりはないようでした。ただ、なんでも相談などもやっております。「笑って・泣いて・しみじみ…音楽とコラボの朗読・語り部のみなさん・障がいのこと、絵本や紙芝居を聞きながら、ひとときを過ごしてみませんか」という内容です。絵本の読み語りの中にさりげなく「障がい」という字が入っていて、いいなあと思えました。わたしも気軽な気持ちで参加させてもらいました。

その上での読みがたりでした。電動車椅子の彼の感想も聞かせていただいてもよかったです。彼が通っている大学でも、障害者権利条約を批准したことをきっかけに、障がいのある学生への「合理的配慮」が努力目標として、取り組んでいる話も聞かせていただきました。わたしたちの運動は、着実に広がっているのだなとあらためて実感しました。さらに、わたしたち自身も障害分野を超えて地域と関わっていかねばならないと痛感しました。

やっぱり平和がいい

藤井克徳氏つながりで、NHKのETV特集の「障害者虐殺70年目の真実」をご覧になった方も多いと思います。もしまだ見られていない方があったら、のぞみの家で見られますのでぜひ見てください。ここでは、ユダヤ人虐殺「ホロコースト」の前に、障害者や病人たちを大量に殺害した事実を淡々と伝えていきます。「社会に役に立つ、仕事ができる、兵隊になれる」人とそうでない人を分けることが始まりだと伝えていきます。そして、ドイツ人として、二度と過ちを起こさないためにも、被害にあった人やそのなかまの人は、「わたしたちも生きていく権利がある」と強く主張し、「弱い人、障害のある人、病気の一人ひとりが大事にされる社会を目指さなければいけない」といつていました。今の日本を考えると、「仕事ができる」「一般就労（施設ではなく会社）に就職できる」ことが一つの物差しとなつて、生活保護費を削り、社会福祉の予算を削り、手当を削り、経済効果優先になつていきます。どうしても、戦争への道をたどっているのではないかと考えてしまいます。わたしたちは、障害福祉を通して障害のある一人ひとりがここで安心して生きていけることが、すべての人が生きていける社会になると考えています。

障害者差別解消法がはじまる

先ほど、「合理的配慮」という言葉を使いました。ごく難しい言葉です。国連の条約は、英文なので日本語に訳すと難しい言葉になつてしまいます。「合理的配慮」は、障がいのある人が暮らしたり、働いたりすることができるよう配慮することです。また障がいのある人は一人ひとり違いがあります。目が見えない人、聞こえない人、知的に障害にある人、発達に障害のある人、難病を抱えている人、歩けない人、これに年齢も重なってきます。だからすべての人に対応することは不可能なのです。でもその人ひとりに合わせることはできるはずです。段差があれば、車いすをみんなで担ぐことはできます。何か工夫はできるはずですよ。

来年4月から「障害者差別解消法」が施行されます。そのメインの考え方が、障害のある人への「合理的配慮」です。このことは地域みんな考えていくことだと思つていきます。よろしく願います。



特集

# 平和を考える

## ～憲法25条 大集会～

今回の特集は 「平和を考える」 です。

安全保障関連法案が可決され、憲法25条のいわゆる「生存権」に関わる、生活保護基準の引き下げまでおこなわれようとしています。生活保護基準の引き下げは社会保障費全体の引き下げにまで影響してきます。

集会参加の感想と「のぞみの家チャレンジ班」の皆さんで話をした内容などを紹介していきたいと思います。

今、それぞれの立場で平和を考えたいと思います。



### 憲法25条 大集会に参加

雨の予報もありましたが、快晴に恵まれました。日比谷公園の音楽堂には「守ろう!! 25条の集会」に全国から約4千人が集結しました。  
生活保護基準の引き下げに反対に声を上げた多くの人と横断幕やのぼりが掲げられました。

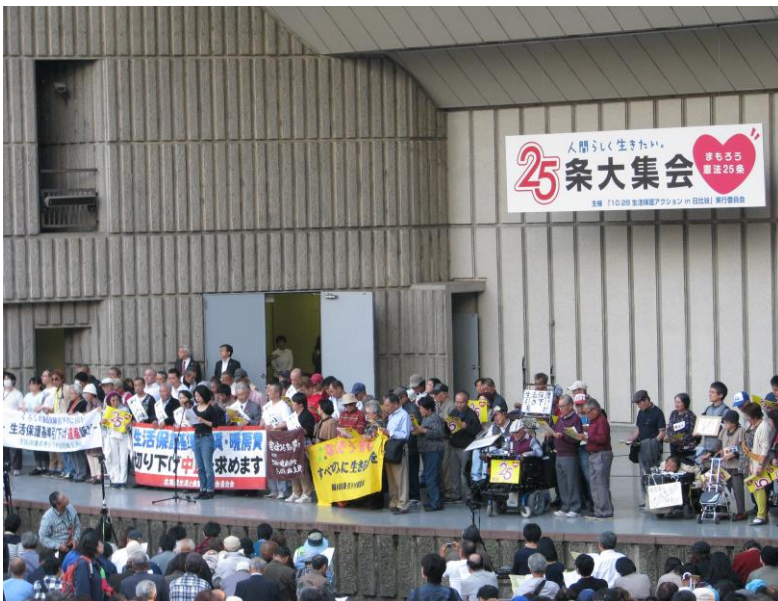
「すべて国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。」  
憲法25条で規定されているにもかかわらず、この権利が脅かされています。

憲法とは、国が国民を守るためにあるはずですが、本末転倒です。国や権力者に対して監視する役目であるはずの憲法が拡大解釈をおこない、政治家の好き勝手に変更しては、国民の生活など守れるはずがありません。

舞台上では生活保護基準の引き下げに反対するため、全国から多くの原告の方が集まり実情を語ってくれました。働きたくても働けなかったり、生活費を切り詰めていても生活が厳しかったりする人が多くいました。

最後に代表の方からアピール案が読まれると、会場は静かになり、全員が真剣に耳を傾けていました。

その後、大きな拍手と共にさらに運動を進めていくという強い気持ちが集まりました。「福祉を守って、いのちを守ろう!」「福祉を守って、平和をつくらう!」「生活保護は、いのちの保障!」「国は社会保障を守れ!」「国は憲法を守れ!」などのシュプレヒコールを場内で上げて、その後、大行進へとむかいました。



▲全国から多くの人が集まりました。



▲のぞみの家から参加の多田さん

## のぞみの家 チャレンジドリームズ班

今、社会保障の根底が揺らいできています。自己責任を全面に押し出し、国の責任を転嫁しているような印象さえ受けます。

大企業を守り、社会的弱者を更に切り捨ていくことが強い国を作ることではないはず。本当に豊かな国を目指す為には、当事者が今後も声を上げていく必要があります。

のぞみの家のチャレンジドリームズ班の9名でも集会参加の感想から、「平和って何だろう」「それぞれの夢は」「幸せは？」ということを話し合ってみました。

まずは、集会参加のメンバーの感想です。

### ―多田鉄太郎さん

弱い人たちから、お金を取るのはひどいよ。どう守っていくかは、僕も政治のことはわからないけど。みんな真剣にやっていました。全国から来ていました。

### ―自治会から

Aさん 「平和を考える」って大きすぎて難しい。

Bさん 心の平和がいい。環境の平和がいい。

Aさん 日本は平和。「私の平和」って言われると難しい。

Cさん モーニング娘を聞いているとき。

職員A Dさんは、1から事業所を作った経験がありました。1から事業所を作った経験がありましたか？



Dさん

自分の力で施設を作ってきた。昔と比べると良くなった。施設建設の反対もあった。戦ってきた。今は幸せ。幸せを作ってきた。

Dさん

私は怪我が良くなって、歩けるようになって嬉し。幸せ。

Eさん

お金を稼いでヘルパーさんと出かけたりすることが幸せ。

Bさん

買物できること。

Fさん

日本に武力いらぬ。基地もいらぬ。政府はお金が無いと言っているけど、それは嘘だ。オレはのぞみで働いている時が幸せ。

全員

すごい。優等生(笑) 本当!? おいしく!! (笑)

Fさん

自分でやりたいことを言ったりして、小さいことでも、それが実現できたとき。

Aさん

職員A

今まで聞いてみると、特別なことではなくて、日頃の喜びですね。今の世の中、基地の話もあったけど、何となく戦争の感じがして嫌だ。

Gさん

Dさんのお話の時代より、声を上げる環境としては恵まれているのかもしれないと昔に戻ってしまいますね。

Dさん

(大きく)「うん!!」「エイエイオ!!!」

職員B

私は「障害者」ではない。一つにまとめられてしまっているようです。一人ひとり違うし、制度を作る時には顔を思い浮かべてほしいですね。

まだまだ、話は続きました。

# コラム「まのみの夏休み」

暑い夏でも子ども達は元気ハツラツ。普段の活動では体験できないこと、友達と一緒に楽しい夏の思い出を作るための活動を行いました。

今年の夏活動は遠足や運動など体を使う遊びをたくさん取り入れました。

ラウンドワン(アトラクション施設)ではボーリングやサッカー、バドミントン、バスケットボール、プールなど体を動かさず彼らがイキイキしていました。

エアートランポリンからプールに飛び込む姿は近年のみ夏活動の醍醐味です。

入間の遠足では中高生が小学生と一緒に遊んだりおしゃべりをして年齢の枠を超え、絆が深まりました。

雨の日でも多摩六都科学館でジャングルジムや実験、ゆっくりり過ぎたい子はプラネタリウムなど子どもたちのニーズに答える活動を行いました。



たくさん子どもたちから「楽しかった」「また行きたい」中には「明日も行きたい」という喜びの言葉を聞くことができました。来年度も引き続き子ども達の余暇を充実できる活動を行っていきます。

## 活動センターかなえ からこんにちは

活動センターかなえでは毎日仕事などに元気に取り組んでいます。月1回のレクリエーションや、調理活動、クラブ活動もみなさんの楽しみな活動です。その中でも春先に行う『お花見会』と『クリスマス会』は全員で行っている行事です。

『クリスマス会』は美味しいケーキが食べられることも楽しみのひとつですが、午後に行われるプレゼント交換会は特に楽しいひとときです。

プレゼント交換会は一人ひとり順番にみんなの前に出てプレゼントについているひもを1本選んで引く張りませす。ひもを手繰っていくとプレゼントが！そしてみんなの前でプレゼントの中身を発表します。「かわいい!」「いいなあ」など歓声があがったり拍手がおきたりします。みんな嬉しそうな顔をした得意気な顔をしたりと班をこえて楽しい時間を過ごせる大切な会です。

もうそろそろクリスマスです。「クリスマス会はいっつ?」と楽しみにしている声があがっています。



連載 がんばれ イリアンソス! シリーズ⑦

日本社会事業大学 実習教育室 黒川京子さん

私が実習担当の教員として勤めている日本社会事業大学(清瀬市)では、「相談援助実習」に学生全員(一学年220〜230人)が取り組むことになっていきます。それは、学生一人ひとりにとって社会福祉の専門職として成長していくための重要な経験であり、また、社会福祉士の国家試験を受験するための要件の一つでもあります。学生たちは3年生(編入生は4年生)のとき、8月から10月にかけて180時間(23日間)以上を実習の場で過ごします。

そのような本学の取り組みに対し、「イリアンソスのぞみの家」の皆様方には、毎年3〜4人の実習生を受け入れていただいています。学生たちは、ご指導のもとで利用者の方々とともに過ごす時間を持ち、会話や言葉以外のコミュニケーション(表情や動作など)をとおして、その方の思いや希望を理解しようとしています。



また、その思いや希望にいかに応えていくのか、そして、専門職として何を大切にするのか(価値・倫理)について考え、指導者の皆様のお話をうかがいながら、体得していくこととなります。地域とのつながりや社会における資源についても、学びを深めていくと思います。専門職としての力量を形成する重要な機会をいただいているのです。

一方、実習には様々な困難がともなう場合もあります。実習先は学生の希望や学びのテーマを踏まえて決まりますが、初めての経験に緊張したり、不安や戸惑いを覚えたりということが、ほとんどの学生に多かれ少なかれ見られます。それはある意味、自然なことかも知れません。また、体調面での困難さを感じる学生もいます。「イリアンソスのぞみの家」では、個々の学生の状況に合わせ、事前の面談やプログラム・日程等に配慮をしてくださっています。だからこそ学生たちは「イリアンソス」を信頼し、実習が終わってからもアルバイトとして実践に参加させていだいたり、希望して就職したりするのだと思います。

高い力量を持った専門職が育っていくことは、それぞれの実践の場(施設や機関など)において、福祉サービスを利用する方々の人権を守り尊厳を大切にすることにつながります。もちろん実習のみならず、どこまでも研鑽を重ね続けていくことが大事ですが、実習は専門職としての基盤をしっかりと固める大きな機会なのだと思います。これからも、次の世代の熱意あふれる専門職が育っていくことを、一緒に支えていただけますよう、よろしくお願いいたします。指導者の方に授業で実践のお話をしていただくなど、嬉しい繋がりがありますし、私も学校から自転車で12〜13分走り、せつせと「実習巡回指導(実習生との面談)」におじゃましたいと思えます。



### 法人行事

くるてん

『リサイクル久留店』のぞみの家のバザーです。

◎日程：12月17日(木)

### ご寄付をいただきました(11月中旬まで)

法人各施設にご寄付をいただいております。誠にありがとうございます。誠にありがとうございました。いただいたご寄付は法人各施設の充実や、将来構想の資金として大切に使用させていただきます。

藤田 祐子様

ありがとうございます。

### 編集後記

戦後70年が経ちました。そんな中でもう2度と戦争はしないと日本人が硬く心を決めたあの日から日本国憲法が戦争を知らない世代によってまた大きく舵を切っています。平和とは何なのかを一人の日本人として考えながら、今の国会の行く末を静かに見守っていききたいと思う今日この頃です。

生活寮かぜ 職員 橋本大介

表紙の写真／のぞみの家、チャレンジ班のレクで西武バスに行ってきました。

#### 《 発行 》

特定非営利法人 障害者団体定期刊行物協会  
〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-26-21  
Tel 03-3416-1698 Fax 03-3416-3129

#### 《 企画、編集 》

社会福祉法人 イリアンソス  
〒203-0043 東京都東久留米市下里 2-7-18  
Tel 042-473-9027 Fax 042-473-9036

#### 《 編集委員会 》

磯部光孝・多田由美・廣智章・秋元沙織  
橋本大介・矢島正樹・吉田遊佑・吉田貴吉  
ホームページからはカラーで  
ご覧いただけます



定価 一〇〇

- 社会福祉法人イリアンソス
- のぞみの家  
東久留米市下里 2-7-18  
042-473-9027  
042-473-9036 (F)  
nozomi@iriansos.or.jp
- 活動センターかなえ  
東久留米市八幡町 1-1-12  
042-420-6316  
042-420-6341 (F)  
kanae@iriansos.or.jp
- なかまの家  
東久留米市中央町 2-1-47  
042-472-7130  
042-444-3722 (F)  
nakama@iriansos.or.jp
- 生活寮「うみ」「そら」  
東久留米市下里 4-2-7  
042-476-3400 (F兼)  
sora@iriansos.or.jp
- 生活寮「にじ」「かぜ」  
東久留米市下里 5-10-10  
042-420-9943  
kaze@iriansos.or.jp
- このみ  
東久留米市幸町 3-8-23  
042-473-9667